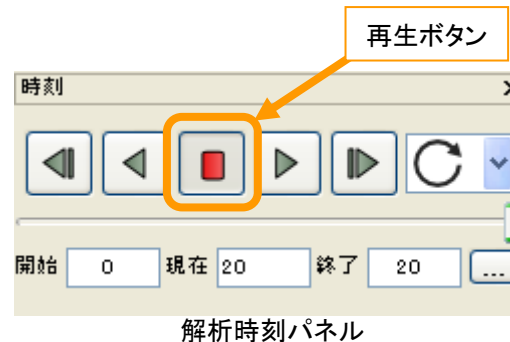


時系列アニメーション

名前の通り、形状や値の時間変化を表示するアニメーションです。複数ステップのデータを読み込むと、[解析時刻パネル]が表示されます。再生ボタンを押すとアニメーションが開始されます。

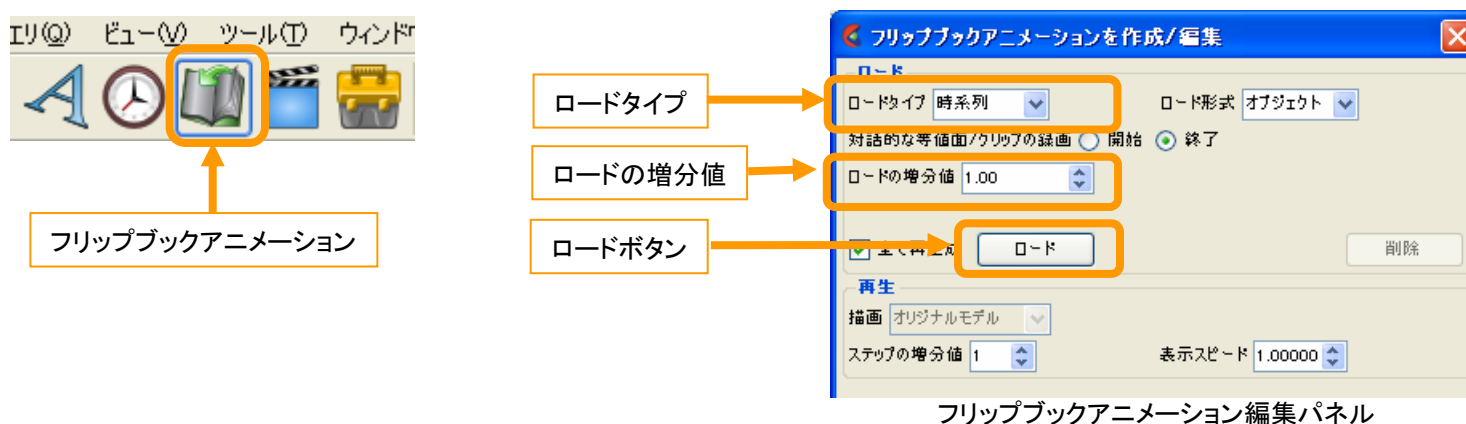


解析のステップ間隔が大きく、急激に形状が変化するデータでは、ステップ間を補間して滑らかに表示することもできます。

この場合、次ページのフリップブックアニメーション機能を利用します。

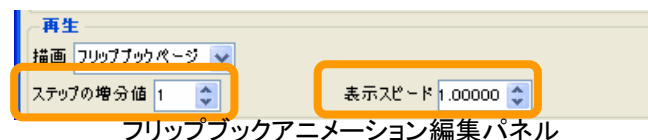
時系列アニメーション(フリップブックの利用)

フリップブックアニメーションでステップ間を補間して滑らかに表示する方法です。



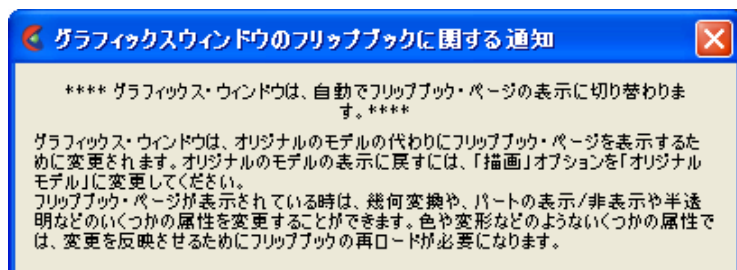
フリップブックアイコンを押して表示されるパネルのロードタイプを [時系列]、ロードの増分値 に例えば [0.5] を入力し [ロード] ボタンを押します。データ読み込みと同時に補間が行われ、ステップ間に 1つデータが追加されます。(0.0、1.0、2.0 のデータが、0.0、0.5、1.0、1.5、2.0 として読み込まれる:補間は線形補間)

再生速度の調整及びステップの間引きは、表示スピード又はステップの増分値で調整できます。

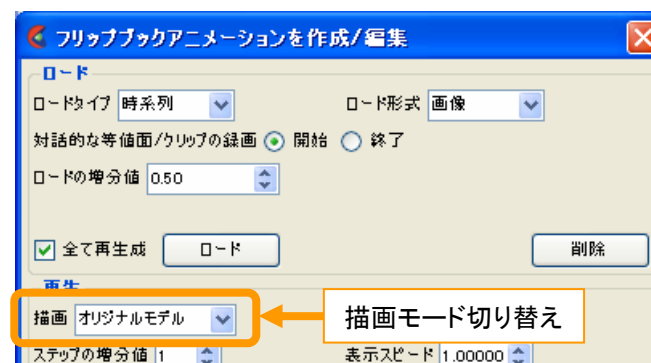


時系列アニメーション(フリップブックの利用)

フリップブック再生時、以下のメッセージを表示した後、専用モードで再生されます。フリップブックアニメーション編集パネルの **描画** を **オリジナル** に変更すると通常モードに戻ります。



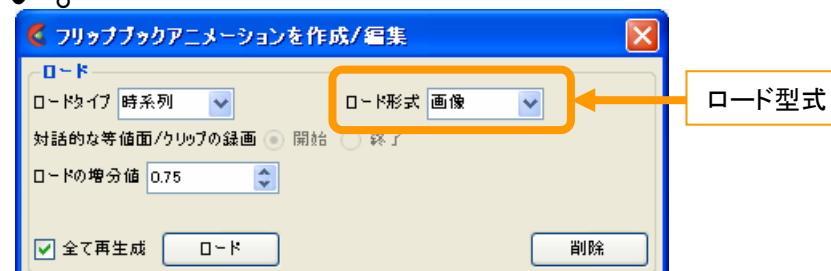
フリップブックモード切り替えメッセージ



フリップブックアニメーション編集パネル

フリップブックは各ステップのデータをメモリ上に保持します。オブジェクト(3次元形状)か画像を選択できます。初期値はオブジェクトです。オブジェクトは、回転、拡大・縮小など幾何変換が行える他、EnLiten ファイルへ出力できますが、メモリを多く消費します。ステップ数が多いデータではメモリが不足することがあります。この際は、ロード形式を **画像** に切り替えて利用して下さい。

フリップブックの詳細は、HowTo マニュアル 又は EnSight Users Manual を参照下さい



フリップブックアニメーション編集パネル